

令和2年度 南アルプス市立若草小学校 学校評価 後期学校関係者評価書

令和3年1月21日(木)
学校関係者評価委員会作成

【第3回学校関係者評価委員会】

- 1 実施日 令和3年1月21日(木) 午後7時より
- 2 会場 若草小学校校長室
- 3 参加者 学校関係者評価委員 4名
教職員 4名(校長・教頭・主幹教諭)
- 4 学校側からの提案内容
 - (1) 学校長の挨拶と説明
 - ①後期における学校の概要報告(新型コロナウイルス感染症対策も含め)
 - ②地域・家庭の理解と協力に対する感謝、並びに今後の継続した支援要請
 - (2) 後期学校評価についての説明(教頭)
 - ①学校評価の方法と資料について…事前に資料を配布していた為、簡略に説明
 - 教職員自己評価集計表
 - 児童アンケート集計表
 - 保護者アンケート集計表
 - ②集計結果をもとにした考察と改善策について
 - 全体的な評価の概略
 - 分類毎による項目の評価と改善策
- 5 学校関係者評価委員による意見(評価・感想・要望)
 - (1) 自己評価全体に関わって
 - コロナ禍のなか、学校の先生たちが様々な工夫を凝らして教育活動を行ってくれており子どもたちがしっかり育っていると感じる。
 - (保護者)アンケートの回収率が、ほぼ100%であることが素晴らしい。
 - (2) 学校生活に関わって
 - 地域の方々も、子どもたちがあいさつをしてくれるととても嬉しい。子どもたちにも、学校・家庭に加え、地域の人たちが一緒になってお世話をし、育ててくれているというこ

とに気づかせてあげてほしい。また、そこから発展して、お世話になった恩を返していけるような関係に育ってけるとよい。

- 前期は臨時休校も含めた新型コロナ対策により、学校や友だちの様子がわからず困惑していたが、子どもから学校生活や学習の様子についての情報を得ることができるようになり安心につながってきている。(保護者同士のコミュニケーションもなかなかうまくとれなかった。)

(3) 学習指導に関わって

- 家庭学習（自主学習）について、自分で課題を見つけるなど自ら考える力を伸ばしていくことはとても大切になってくる。
- 自分で課題や取り組み内容を見つけられない児童もいるので、先生方に相談したり、アドバイスをもらえる機会をお願いしたい。

(4) 生徒指導に関わって

- 「相談できる人がいるか」の項目について、前期より向上してきている点は評価することができ、とてもありがたいことである。
- いじめの認知件数の増えているところが気になる点であったが、先生方が細かな部分まで目に留め、丁寧に対応してくれていることを知ることができた。個性的な子ども（問題を抱えた児童）もいるかとは思いますが、良いところを褒めてあげたり、気になる部分を見逃さない対応を今後も継続して行ってほしい。先生と児童のコミュニケーションをさらに深め、一層学校が楽しく思えるような教育活動を期待している。

(5) 携帯電話（スマホ）・デジタル化への対応に関わって

- 携帯電話（スマホ）の所有率の高さ（増加傾向）が気になる点である。
- G I G Aスクール構想の進捗状況の速さに驚くと同時に、タブレット等の機器の取扱いや用途・利用内容（アプリ等）について、これまでなかった心配も懸念される。